

令和6年度（2024年度）大分大学学校推薦型選抜試験問題

出題の意図

小論文

（福祉健康科学部 社会福祉実践コース）

※この出題の意図についての質問・照会には一切応じません。

本学部の AP（アドミッション・ポリシー）において、「福祉社会の実現に関心を持ち、自ら考え、実践・努力する人」と示されている。本文章では、「教育と福祉」の連携においてスクールソーシャルワーカー（SSW）の活用が期待される学校現場での課題が指摘されている。

多様化する子どもと保護者への対応に限界が生じ、多様な役割を担わざるを得ない担任教員の負担は計り知れない。そこで、学校における福祉の専門職である SSW の役割や連携のあり方について文章を読み取り、必要とされる支援についての理論的思考力と文書能力を確認する。また、次代を担う子どもへの支援について社会資源を応用援用するような考察へと思考が展開することで福祉人財としての資質を問うことを意図している。